



春のかねやまを楽しもう GW期間中に桜も見頃に

4月下旬から5月上旬にかけてのゴールデンウィーク期間中、「春のかねやまを楽しもう」をテーマに町内で様々なイベントが開催されました。マルコの蔵前広場では、青空市やミニマルシェなどを集約したマルコ市が4月30日限定でオープン。大堰公園の茶飲み

処や交流サロンばすとでの各種ものづくりワークショップなどイベント目白押しで、町中心部は多くの来場客で賑わいました。また、同時期に見頃になった町内各地の桜。田屋の一本桜には県内外から見物客が訪れ、写真に収めるなどして楽しんでいました。



がん特異的揮発性バイオマーカー同定研究事業 宮下先生が研究の状況とこれからについて説明

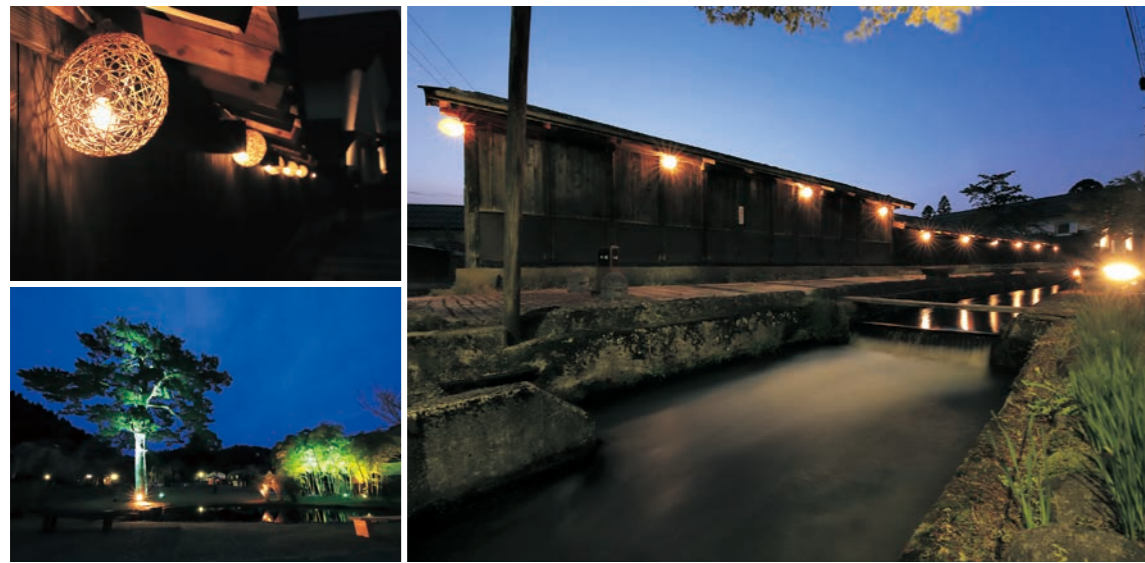
5月2日、健康づくり講演会を行い、昨年度から取り組んでいる「がん探知犬を用いたがん早期発見研究のこれまでの状況とこれから」について、日本医科大学の宮下正夫教授が説明されました。

昨年度、研究にご協力いただいたのは922検体。訓練を受けたがん探知犬二頭が、そのうちの18検体を陽性と嗅ぎ分けました。

今年度は正確さを高めるため600検体に留める予定。29年度分も含めて、精密検査の費用支援をしながら、3年計画でがんの早期発見の研究を続けていきます。

した。精密検査の結果、そのうちの1検体が初期の子宮頸がんと判断され、残りの17検体はまだがんは見つかっていない状況。また、探知犬が陰性と判断した検体のうち、6検体が通常検査でがんと診断されました。

宮下教授は「まだ研究段階の事業。昨年度の結果を受け、検査方法を改良し、より適合性を高めていく」と今年度の研究事業方針を述べられました。陽性と判断された方のフォローアップを行っている町立金山診療所の瀬尾副所長は「結果ができるまでの不安を軽減するため、できるだけ迅速な対応を心がけると話していました。」



今

年は内町や羽場にさらに拡大
美しい街並みを引き立てるあかりが街なかに

大堰周辺や蔵史館、きこころ橋などを照らす街なかライトアップが、4月30日から始まっています。30日の夕方に大堰公園で行われた点灯式には、5年前からライトアップに協力をいただいている東京都市大学小林茂雄ゼミのメンバーも参加。学生と住民の皆さんが手作りしたランプシェードやスポットライト約30個にあかりが灯されました。

今年は新たに内町地区と羽場地区へ広がったライトアップ。また、住民主体で山崎地区にも拡大しており、町全体で約85箇所での実施となっています。学生の皆さんは「主役はあくまで街並み。美しい景観を引き立てるようなあかりにこだわった。町全体にライトアップが広がるのが理想。もっと住民の方々の巻き込んでいきたい」と話していました。

地区中学校駅伝大会 金山中男子チーム4連覇



5月12日、最上地区中学校駅伝大会が開催され、男子チームが4連覇となる優勝を果たしました。「先行逃げ切り作戦が功を奏した。アンカーもよく逃げ切ってくれた」と顧問の明石先生は笑顔で話していました。女子チームも3年生が少ない中、4位と健闘。男女ともに多くのメンバーが自己ベストを更新し、力を出し切ったレースとなりました。

金山町スポーツ少年団結団式 健康な体と心を



金山町スポーツ少年団（須藤信一本部長）の結団式が5月1日、中央公民館で開催されました。今年度は、金山・有屋スキー・明安スキー・水森山スキー・金山町柔道の5つの団に総勢105名の団員と約30名の指導者が登録する予定。それぞれ所属する団で種目別のスポーツやボランティア活動等を行います。団紹介では元氣よくかけ声を披露する姿も見られました。